

映文連 国際短編映像祭

International Corporate Film Showing 2012

日 時：2012年11月29日（木）14時～16時45分

会 場：富士フイルム西麻布本社ホール（東京都港区西麻布2-26-30）

アジア諸国からの招聘作品は、シンガポールからコーポレート映像3篇をご紹介します。

1. A Girl's Hope

（シンガポール）2分

企画：Ministry of Community Development, Youth and Sports
（地方自治開発省）

製作：Freeflow Productions (Director : Roslee Yusof)

解説：2010年にシンガポールで第1回ユースオリンピックが開催されるにあたって、国をあげてオリンピックを盛り上げようと製作されたTVコマーシャル。視覚障害のある9歳の少女が主人公。少女はオリンピックサポーターの夢と希望を伝えた。



2. Social Worker

（シンガポール）2分

企画：Ministry of Community Development, Youth and Sports
（地方自治開発省）

製作：Freeflow Productions (Director : Mark Chua)

解説：人材募集のTVコマーシャル。実際のソーシャル・ワーカーが主演している。この映像は視聴者にソーシャル・ワーカーの仕事と、貧しい日常生活の中でソーシャル・ワーカーが果たす影響力について示唆した。



3. HPB: Making a Difference

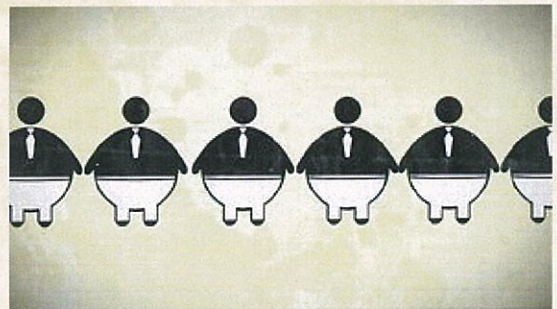
（シンガポール）6分

企画：Health Promotion Board（シンガポール健康促進局）

製作：Freeflow Productions

(Director : Dan Stevenson / Graphic Artist - Marcel Sarmiento)

解説：啓発的な一篇に少しのユーモアとクリエイティビティが加わると、健康事情を見るのも楽しくなる。ベクトルタイポグラフィとイラストレーションを重ね合わせることで、嫌みなくシンガポールの現在の健康問題が表現されている。



協力：Bang Singapore Pte Ltd